



# 2018年3月期 決算説明会

2018年5月21日

代表取締役社長

實吉 政知

	ページ
2018年3月期 決算	…… 2-16
当社の経営戦略	……17-29
<ご参考>	……30-31



# 2018年3月期 決算

## ● 決算サマリー

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	8,457	100.0	8,654	100.0	+ 2.3
営業利益	1,418	16.8	1,491	17.2	+ 5.1
経常利益	1,396	16.5	1,490	17.2	+ 6.8
当期純利益	458	5.4	1,308	15.1	+ 185.6
1株当り純利益(円)	53.2	----	152.0	----	+ 185.7
1株当り純資産(円)	1,413.4	----	1,519.6	----	+ 7.5

## ● 決算のポイント・トピックス

- ▶ 採血管準備装置の更新需要に底打ち感  
⇒ 大病院での慎重な動きは継続も、納入施設数は増加
- ▶ 消耗品等は堅調に推移  
⇒ 装置の累計販売台数増加に伴う消耗品の好調  
人員強化等による保守・メンテナンス料の伸長
- ▶ 海外販売は減少も、小型機の採血管準備装置は堅調
- ▶ 研究開発費は前期から減少
- ▶ トピックス  
⇒ 期初にBC・ROBO-8001RFIDの販売を開始  
⇒ RFID検体情報統括管理システム”TRIPS“が第19回自動  
認識システム大賞で「優秀賞」を受賞

\*RFID (Radio Frequency Identification)  
… ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム

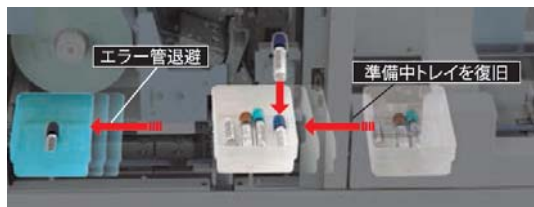
## ● 新製品 BC・ROBO-8001 **RFID** の上市

4  
つ  
の  
新  
機  
能



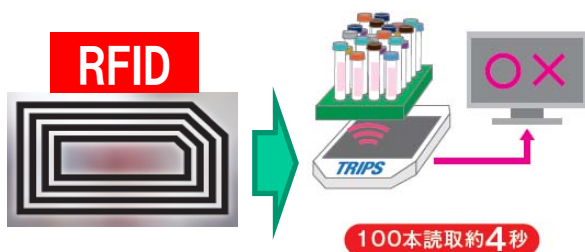
### IoTサポート

⇒ 自動起動機能 等



### 自動復旧

⇒ 発行動作の停止を回避



### RFID連携強化

⇒ 検体トレーサビリティの強化



### 自動学習

⇒ メンテナンス時期のアラート 等

自動採血管準備装置  
**BC・ROBO  
8001**  
**RFID**

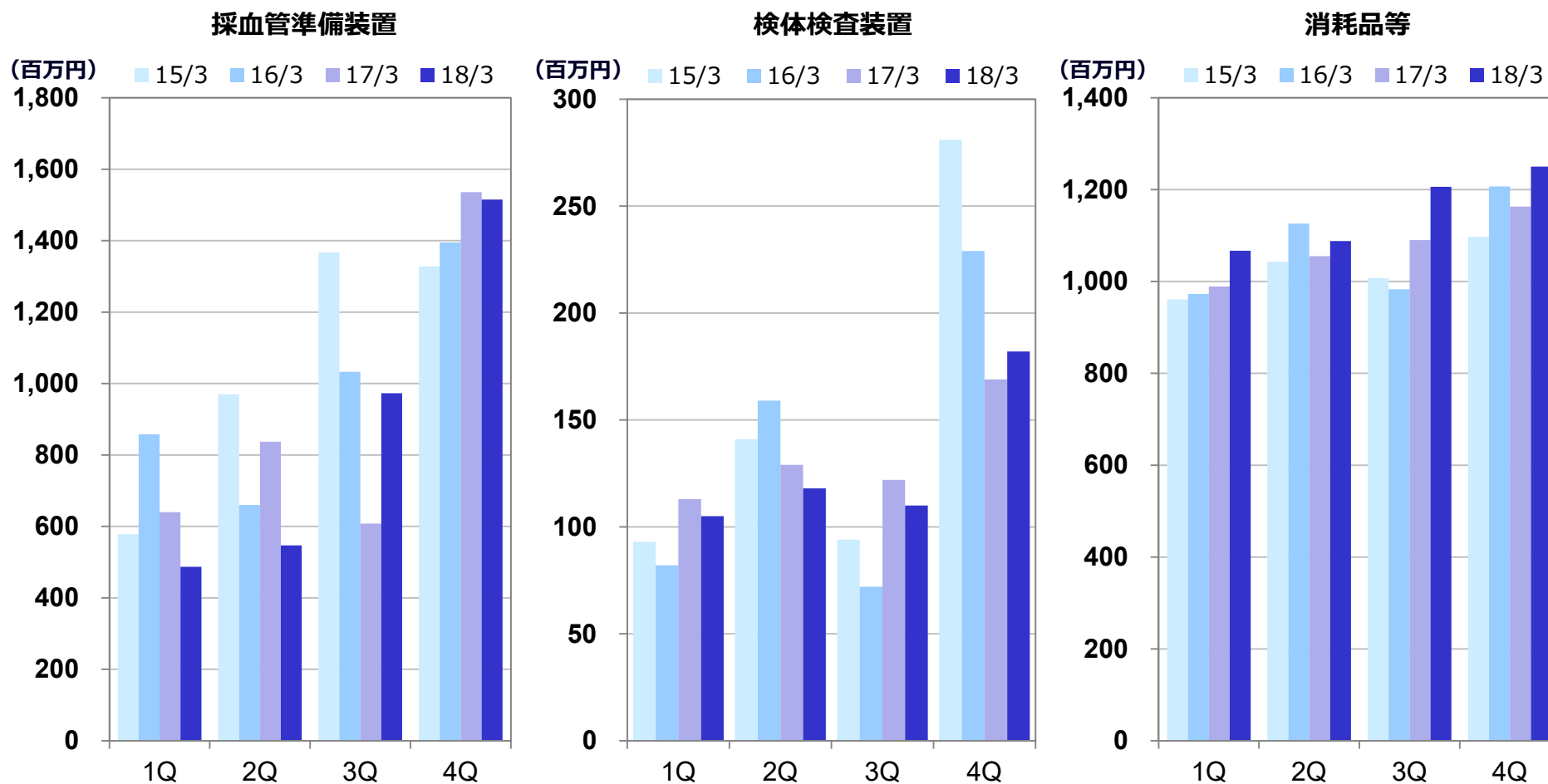


## ● 品目別売上高(全体)

(単位：百万円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年3月期	
					前期比(%)
採血管準備装置	4,243	3,948	3,622	3,523	△ 2.7
構成比(%)	46.4	43.7	42.8	40.7	----
検体検査装置	610	544	534	517	△ 3.2
構成比(%)	6.7	6.0	6.3	6.0	----
消耗品等	4,110	4,290	4,299	4,613	+ 7.3
構成比(%)	45.0	47.5	50.8	53.3	----
その他	179	249	----	----	----
構成比(%)	2.0	2.8	----	----	----
合計	9,145	9,032	8,457	8,654	+ 2.3

## ● 品目別売上高(四半期別)



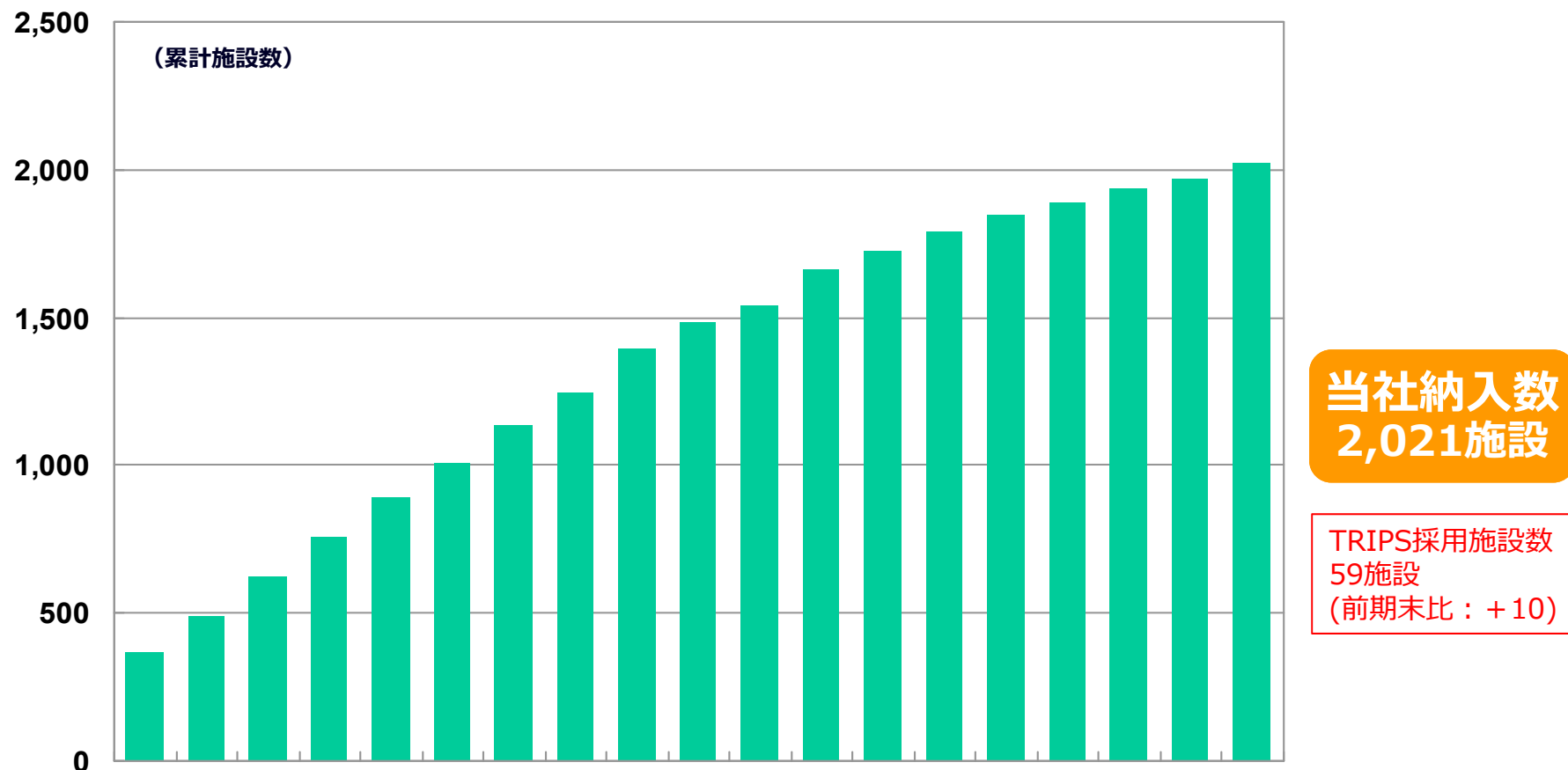


## ● 採血管準備装置－BC・ROBO納入施設数

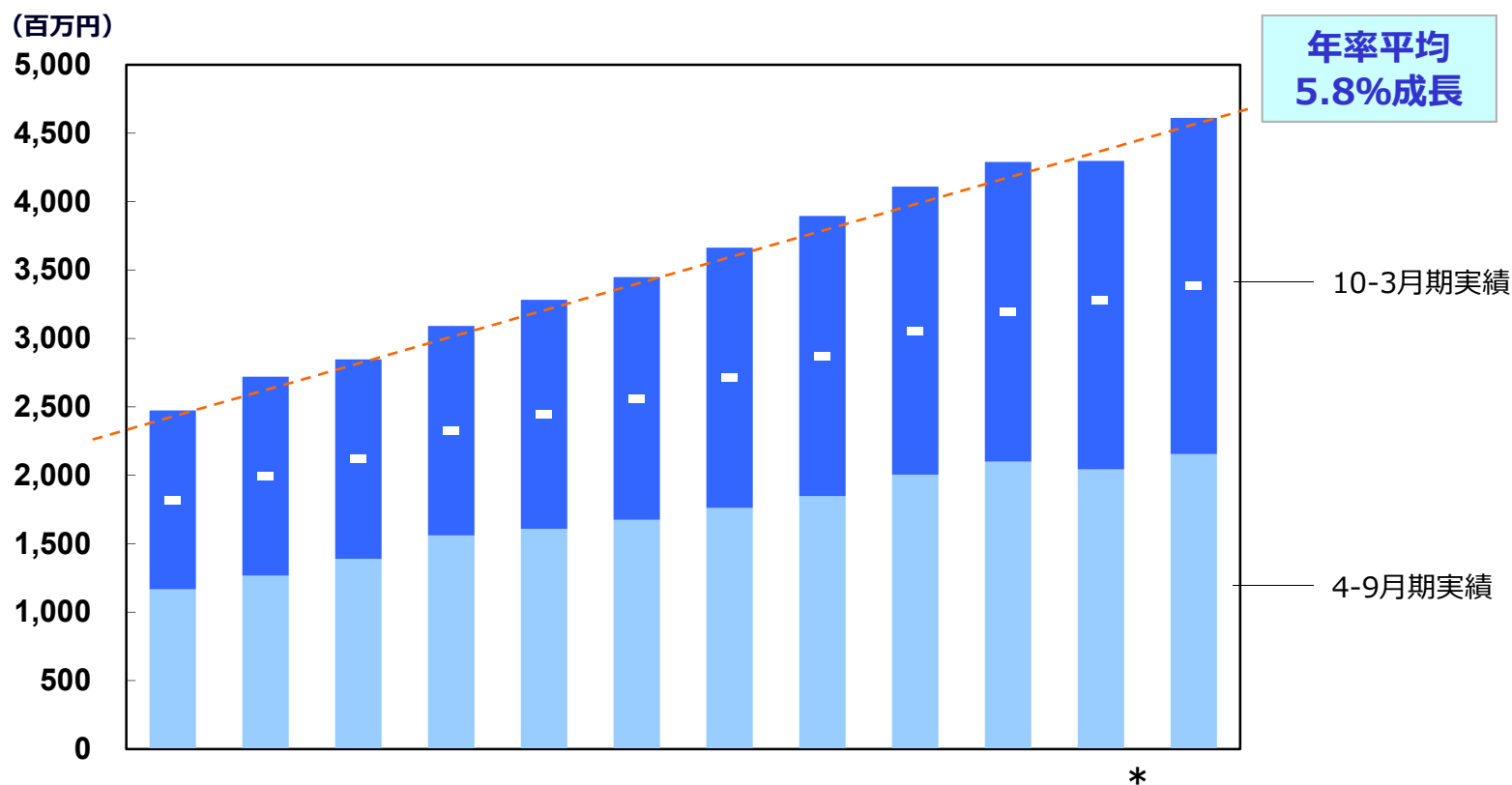
	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
納入施設数	262	262	275	298
国内	197	203	177	209
内、新規	46	48	32	50
内、更新	151	155	145	159
輸出	65	59	98	89

- ・国内：新規、更新ともに持ち直す
- ・輸出：東アジア地域を中心としたアジア市場の  
販売が堅調

## ● 採血管準備装置－国内納入施設の推移

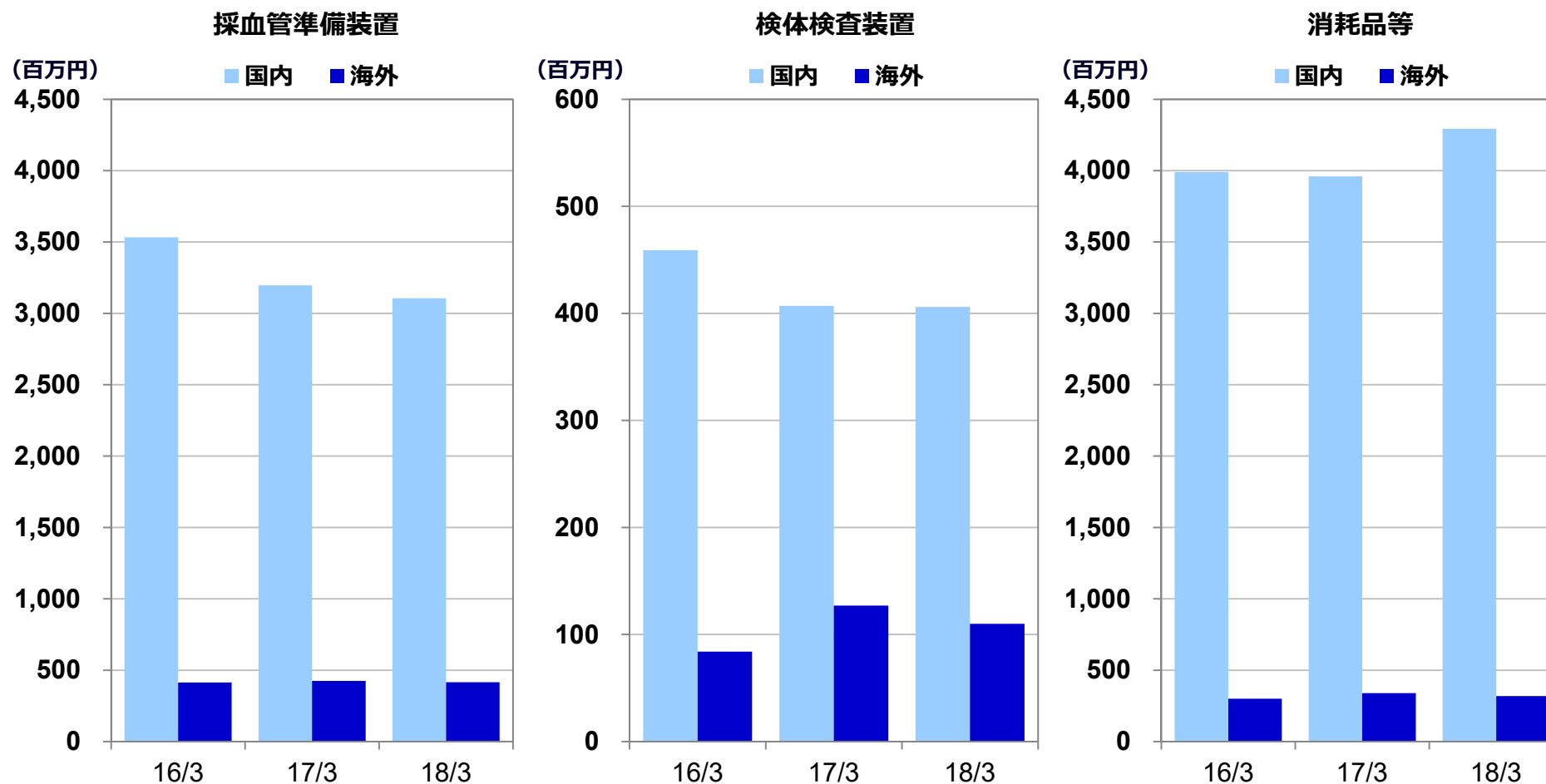


## ● 消耗品等(含む保守料)の売上高推移

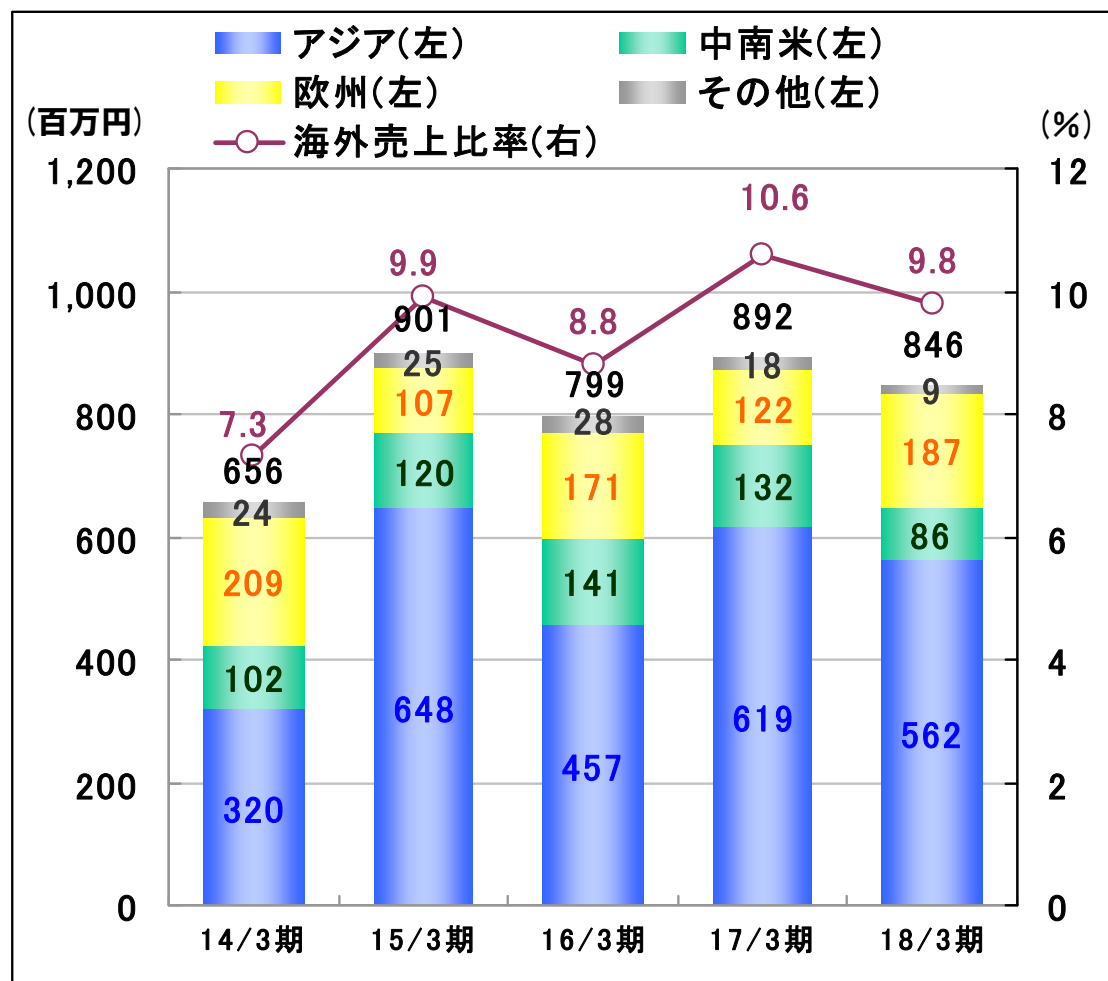


\* 17/3期より保守料の計上方法を変更

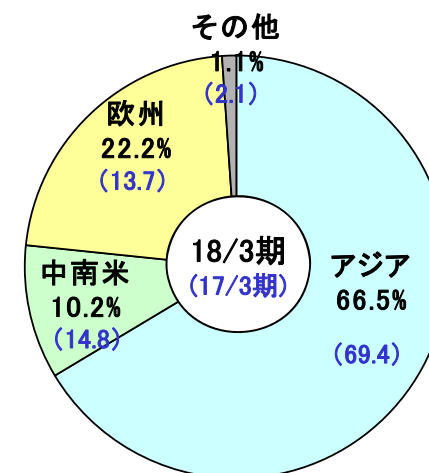
## ● 品目別売上高(国内・海外別)



## ● 海外売上高



### 地域別の売上構成比



[2018/3期]

採血管準備装置  
…納入施設数が減少

消耗品  
…受注分の一部は  
売上げ計上が翌期へ

## ● 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2017年3月期		2018年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,457	100.0	8,654	100.0	+ 2.3
売上原価	4,337	51.3	4,651	53.7	+ 7.2
売上総利益	4,119	48.7	4,002	46.3	△ 2.8
販売管理費	2,701	31.9	2,511	29.0	△ 7.0
(内 研究開発費)	657	7.8	446	5.2	△ 32.1
営業利益	1,418	16.8	1,491	17.2	+ 5.1
営業外損益	△ 22	△ 0.3	△ 1	△ 0.0	---
経常利益	1,396	16.5	1,490	17.2	+ 6.8
特別損益	△ 788	△ 9.3	180	2.1	---
法人税、調整額等	149	1.8	362	4.2	+ 142.8
当期純利益	458	5.4	1,308	15.1	+ 185.6

【売上総利益の減少】仕入原価の増加、旧型製品の在庫評価減等が影響

【特別損益好転】前期の決算修正に係る費用計上からの反動減と、過年度決算修正に伴う税金還付

## ● 要約貸借対照表【資産の部】

(単位:百万円、%)

	2017/3期末		2018/3期末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
<b>流動資産</b>	12,609	89.3	13,973	90.2	+ 1,364
現預金	8,238		9,327		+ 1,089
売上債権	2,714		3,221		+ 507
棚卸資産	1,483		1,195		△ 288
その他流動資産	173		229		+ 56
<b>固定資産</b>	1,505	10.7	1,519	9.8	+ 14
有形固定	1,264		1,256		△ 8
無形固定	23		19		△ 4
投資等	218		244		+ 26
<b>資産合計</b>	14,115	100.0	15,493	100.0	+ 1,378

## ● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位:百万円、%)

	2017/3期末		2018/3期末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
<b>流動負債</b>	1,599	11.3	2,181	14.1	+ 582
買入債務	705		1,233		+ 528
短期有利子負債	—		—		—
その他流動負債	894		947		+ 53
<b>固定負債</b>	347	2.5	294	1.9	△ 53
長期借入金	—		—		—
その他固定負債	347		294		△ 53
<b>負債合計</b>	1,946	13.8	2,475	16.0	+ 529
<b>純資産合計</b>	12,168	86.2	13,017	84.0	+ 849
<b>負債・純資産合計</b>	14,115	100.0	15,493	100.0	+ 1,378



## ● 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2017/3月期	2018/3月期	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	695	1,517	+ 822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165	△ 168	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 370	△ 369	+ 1
現金・現金同等物の増加額	159	978	+ 819
現金・現金同等物の期首残高	5,991	6,150	+ 159
現金・現金同等物の期末残高	6,150	7,129	+ 979
研究開発費	657	446	△ 211
設備投資実施額	35	53	+ 18
減価償却実施額	72	71	△ 1



# 当社の経営戦略

## ● 2019年3月期 業績見通し

(単位:百万円、%)

	2018/3期		2019/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,654	100.0	9,300	100.0	+ 7.5
営業利益	1,491	17.2	1,400	15.1	△ 6.1
経常利益	1,490	17.2	1,400	15.1	△ 6.1
当期純利益	1,308	15.1	900	9.7	△ 31.2
1株当り純利益(円)	152.0	—	104.6	—	—
1株当り配当金(円)	45.0	—	45.0	—	—
<b>研究開発費</b>	<b>446</b>	<b>5.2</b>	<b>800</b>	<b>8.6</b>	<b>+ 79.4</b>

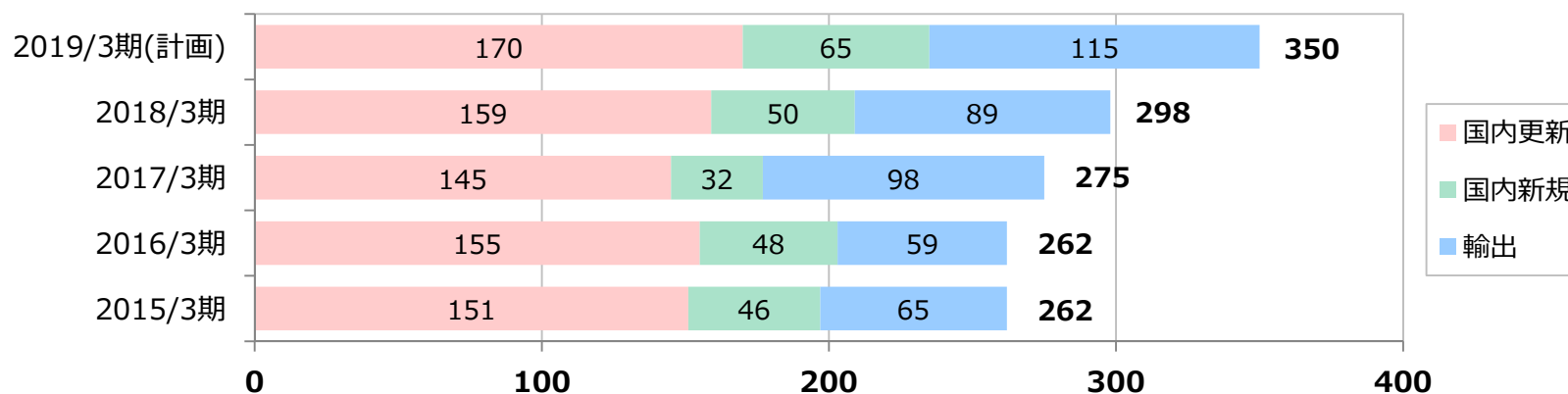
採血管準備装置の売上高回復を見込む一方で、研究開発費の増加から減益の見込み

## ● 2019年3月期 品目別売上高見通し

(単位:百万円、%)

	2018/3期		2019/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,654	100.0	9,300	100.0	+ 7.5
採血管準備装置	3,523	40.7	4,040	43.4	+ 14.7
検体検査装置	517	6.0	610	6.6	+ 18.0
消耗品等	4,613	53.3	4,650	50.0	+ 0.8

### ROBO納入施設数



## ● 当社の基本戦略

### ▶ 中期的な経営環境

医療費抑制策は継続、予防医療・医療安全及び業務効率化への動き拡大

#### 【研究・開発方針】

**オンリーワン製品の投入**

#### 【営業方針】

- **RFID\***の利用による検体情報の統括管理ニーズの喚起  
(外来/病棟の採血～検体管理、尿検体管理など)
- 健診施設、クリニック等製品 小型採血管準備装置<BC・ROBO6>の展開

## ● 営業戦略（国内）～基本戦略～

### ➤ 採血管準備装置

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉  
中病院 ⇒ 新規開拓の加速  
健診センター ⇒ 販路拡大

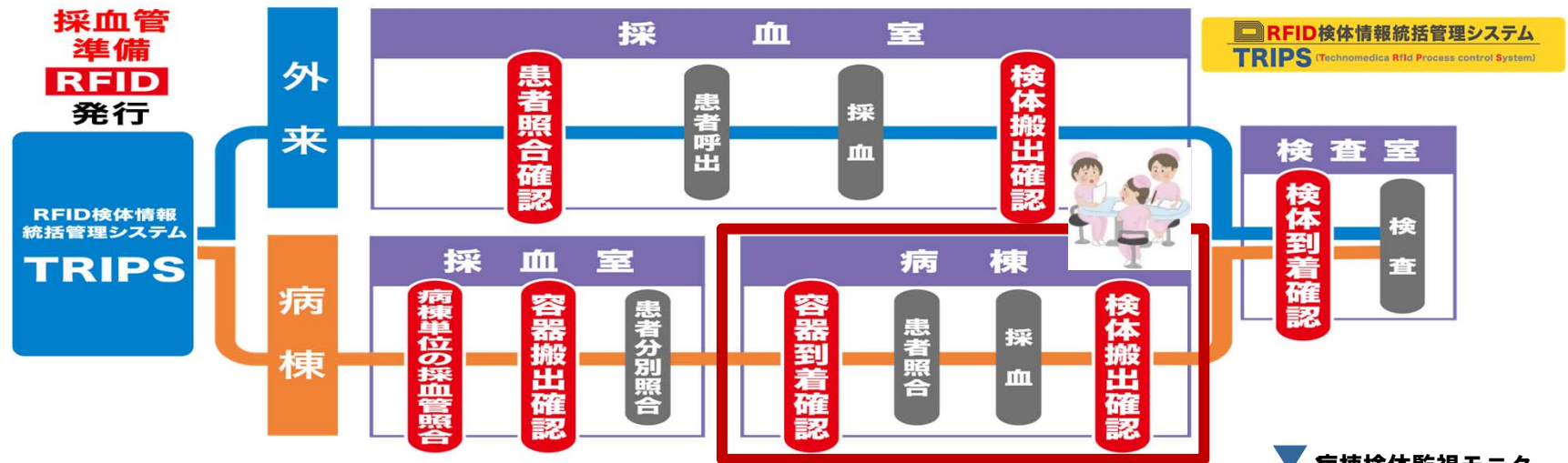
粗利率を維持しつつ  
新市場の開拓を目指す

※大病院に関しては、新型採血管準備装置BC・ROBO-8001RFIDと  
当装置から展開する検体情報統括管理システムに注力

### ➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院  
への販路拡大に取り組む

## ● 営業戦略（国内） ～ RFID の病棟への導入～



▼ 病棟検体監視モニター

RFID検体搬送カート

▼ RFIDプリンタ



## ● 営業戦略（国内） ～販売強化～

### ➤ RFID

- ◆ BC・ROBO-8001 RFID（採血管準備装置）
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID（全自動尿分取装置）
- ◆ u-TRIPS（RFID尿検体管理システム）
- ◆ TRIPS-Bt（RFID輸血患者情報管理・照合システム）

### ➤ 新規販路開拓、販売機会の拡大

#### <採血管準備装置>

- ◆ BC・ROBO-6 … 健診施設、クリニック等

#### <検体検査装置>

- ◆ GASTAT-700モデル … 全方位で販売強化
- ◆ 非接触型静脈可視化装置「StatVein」  
… 小児科・麻酔科等
- ◆ 酸化ストレスマーカー … 大学の研究室等



BC・ROBO-8001 RFID

UA・ROBO-2000 RFID



「StatVein」



## ● 営業戦略（国内） ～GASTAT-700モデル～

➤ 2017年3月発売の新製品



血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル

### ★安心見守り機能

装置状態をIoT技術により、弊社コールセンターで監視（リモートメンテナンス機能の強化）  
⇒ 未然にトラブル発生を察知、防止して常時測定可能状態を維持

### ★簡単操作

測定、メンテナンスのあらゆる操作に、直観的に把握、実施できるガイダンスを表示

### ★電極の長寿命化

グルコース、ラクテート電極寿命が業界最長の3ヶ月を実現  
⇒ ランニングコストを大幅削減

※ テクノメディカは、血液ガス分析装置の国内唯一のメーカーです。

## ● 営業戦略（海外）

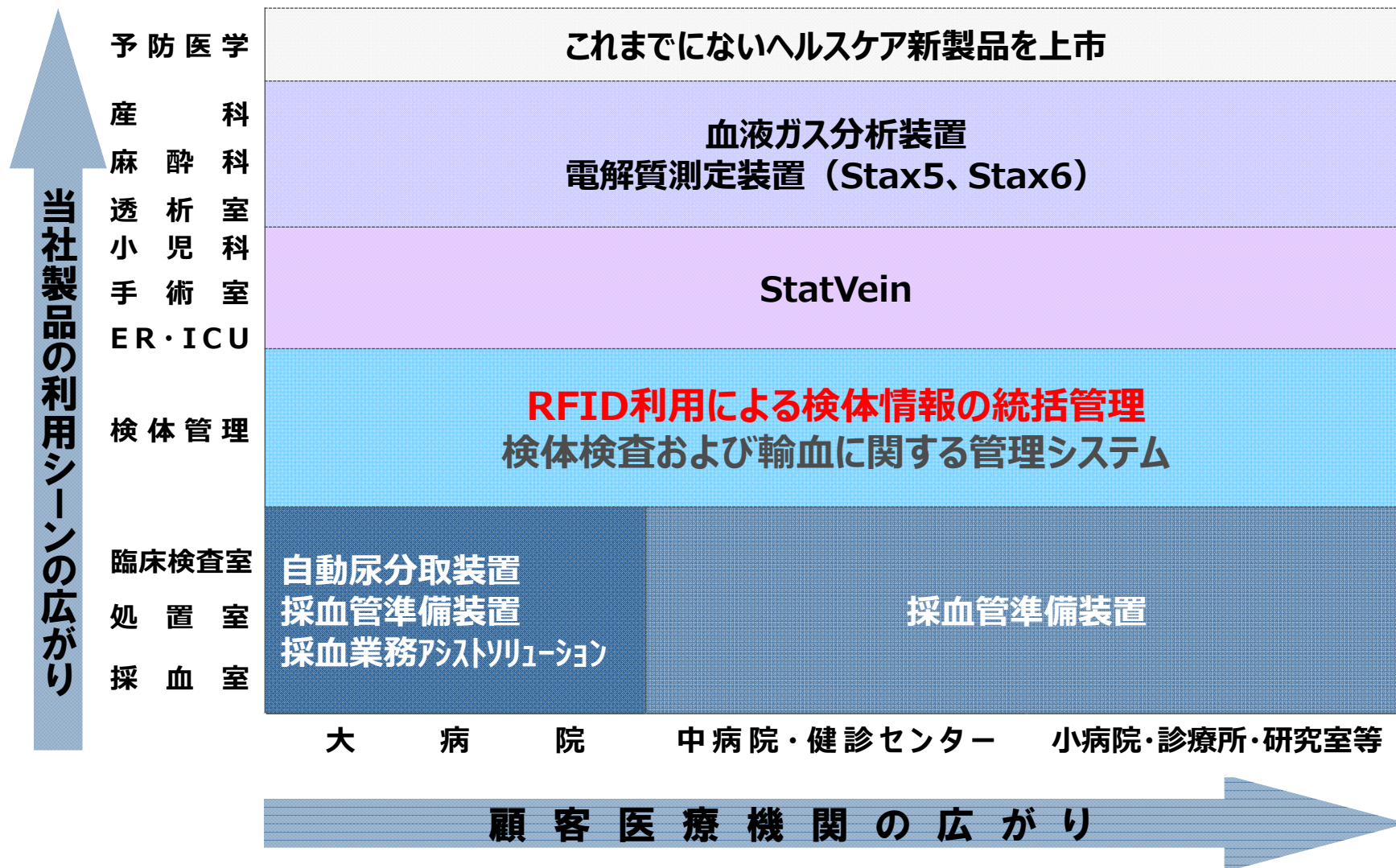
### ▶ 基本方針

**新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化**

⇒ **製品群を強化するとともに、人員の拡充をはかり、  
キメ細かく案件を捕捉**

- ・アジア、欧州、中南米で新市場の開拓
- ・増員による販売体制の強化

## オンリーワン製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



## 中期経営計画 基本方針

### 【国内事業】信頼性及び品質の向上と開発技術の創造

- ⇒ 採血管準備装置の更新需要の確実な捕捉
- ⇒ 医療現場におけるRFID活用領域の拡大

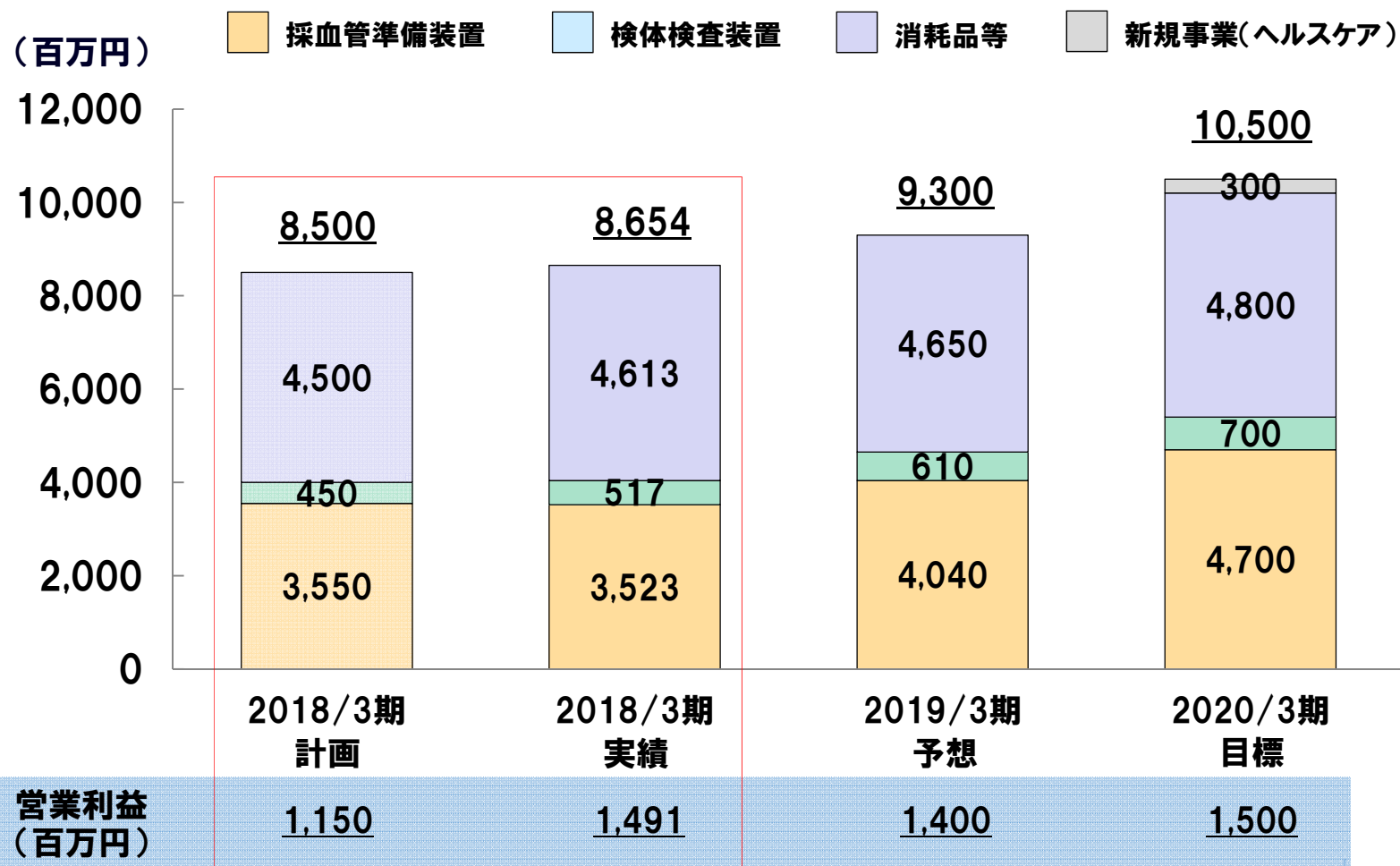
売上増収を目指す

### 【海外事業】ニッチマーケットに特化し、当社の技術力を生かした製品の拡販を目指す

### 【新収益源】開発技術の向上により、ヘルスケア分野で存在感のある企業を目指す

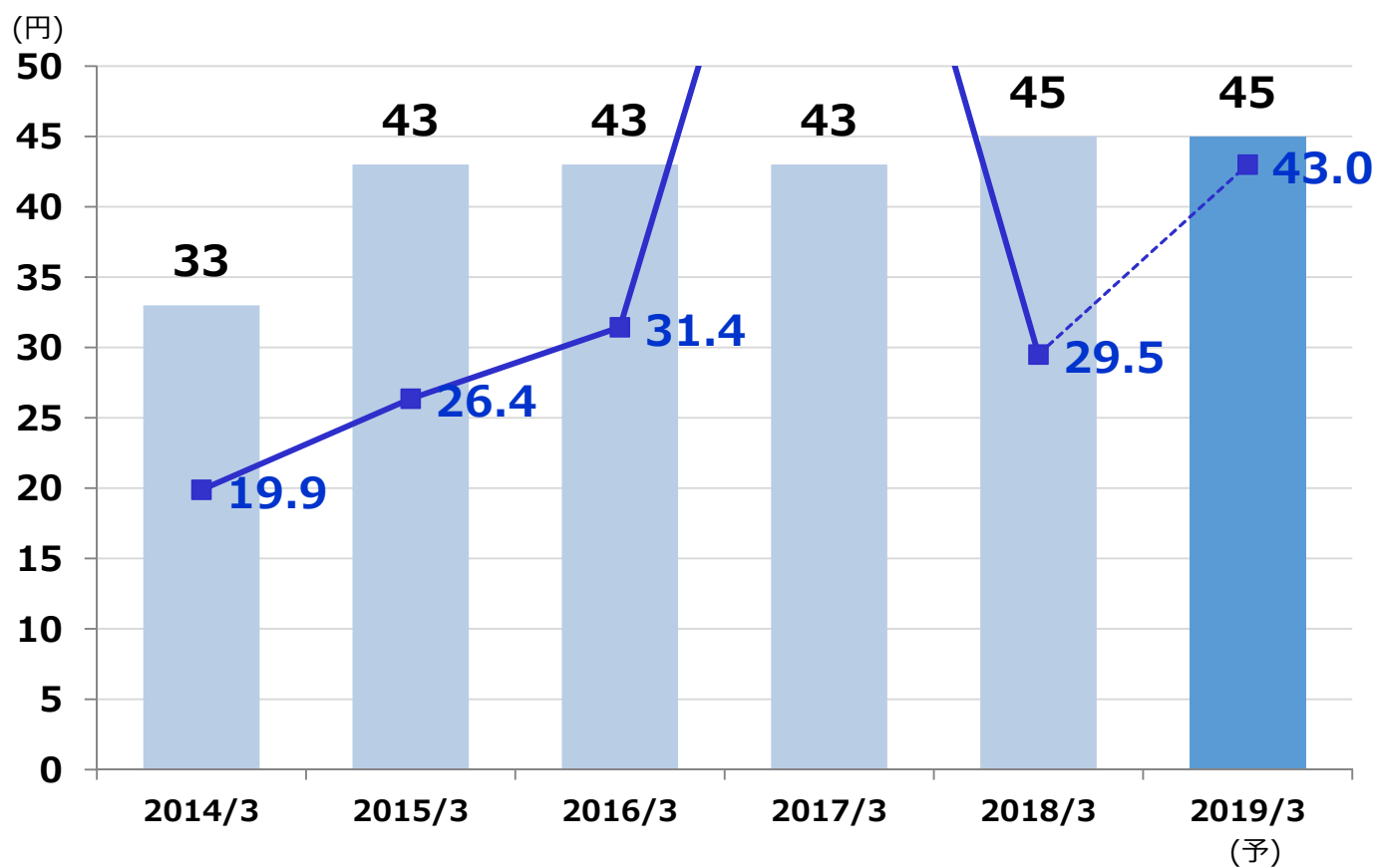
- ⇒ 採血管準備装置、血液ガス分析に続く第3の柱を確立し、ニッチマーケットで安定的な成長を実現
- ⇒ キーワード … 在宅医療、予防医学、先制医療、POCTなど

## 中期経営計画 売上目標



## 【配当性向の目標】

30%～40%を当面の目安として目指す



## ● “TRIPS”の第19回自動認識システム大賞「優秀賞」受賞について

### 自動認識システム大賞とは

- ・自動認識技術やシステムの発展と普及・啓発を目的として、**先進的かつその効果が極めて顕著な**自動認識関連の技術やシステムを一般社団法人日本自動認識システム協会が表彰

### 今回、大賞に次ぐ優秀賞を富士通フロンテック(株)と共同で受賞

#### 【TRIPSの特長】

- ◆ 検体容器の一括読取(最大100本まで)を実現 ⇒ **作業時間の大幅短縮**
- ◆ 読取は専用のリーダーに置くだけの簡単操作 ⇒ **医療従事者の負担を大幅軽減**
- ◆ 検体の個品管理によるトレーサビリティの厳格化 ⇒ **医療事故防止に貢献**

※その他の情報については、<http://www.jaisa.jp/pdfs/170929/a02.pdf>、  
<http://www.technomedica.co.jp/t01/ars20170731b.pdf> を参照

#### RFID活用に関する今後の展望

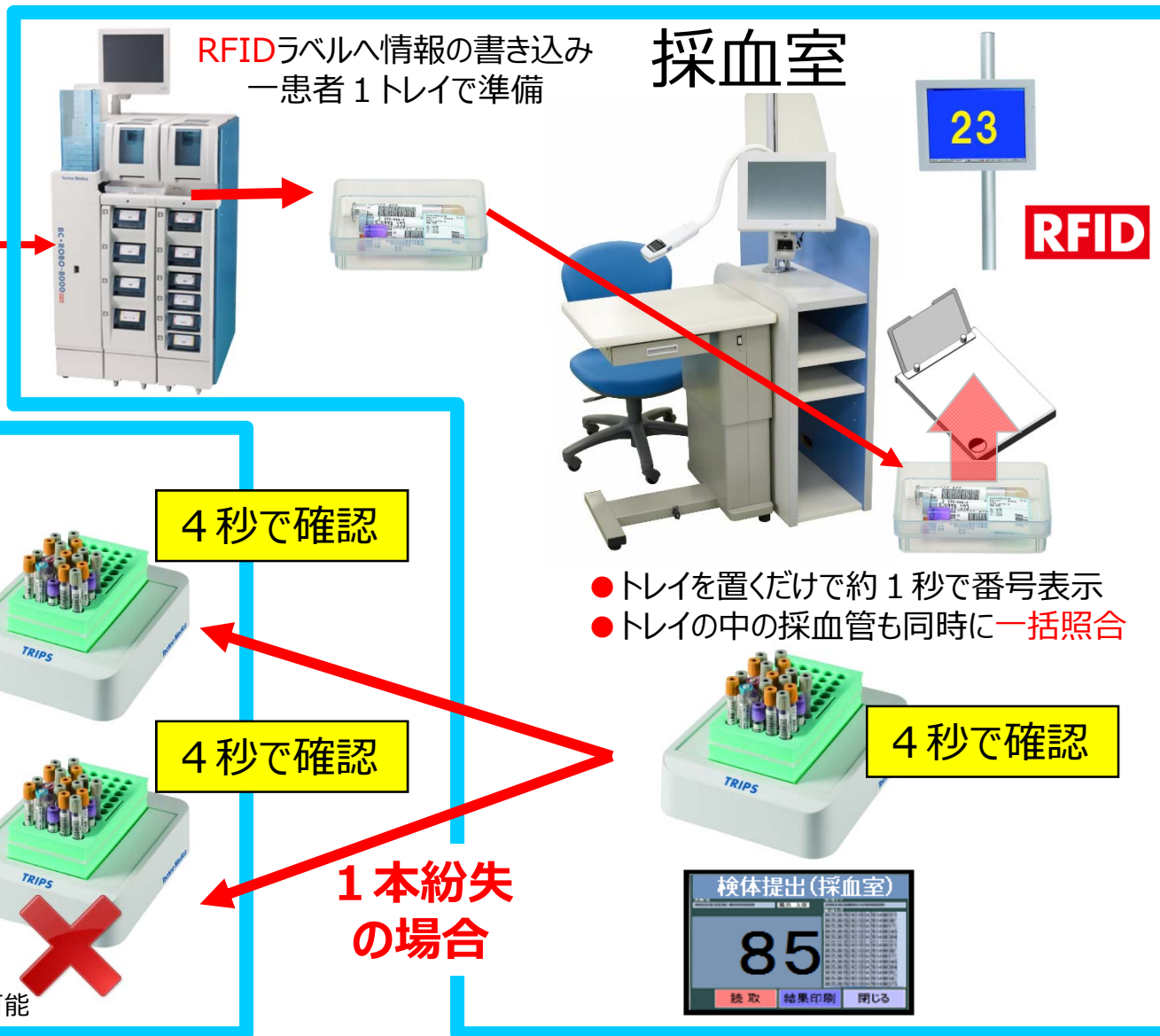
【実現済み】 ①尿検体(採尿カップ)の提出確認、②輸血の際の3点照合(RFIDタグ付き輸液パック、リストバンド、医療従事者のIDカードの読取確認)等

【実現に向けて検討】 ①病理検査分野等への拡張、②臨床検査機器内でのRFID活用法、③臨床検査センターでのRFID導入提案等

# <ご参考 2>



患者の検査情報



不足が分かればすぐ病棟へ連絡  
まだ当直の看護師がいるため確認が可能



## ● 品目別の主要製品について

製品名							
採血管準備装置 (検体前処理装置)	 <p>採血管準備装置 BC・ROBO-8001RFID</p>	 <p>卓上型 採血管準備装置 BC・ROBO6</p>	 <p>RFID検体情報 統括管理システム TRIPS アンテナ ボックス 採血管 スタンド</p>	 <p>全自動尿分取装置 UA・ROBO-2000RFID</p>			
	 <p>血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル</p>	 <p>ハンディ型血液ガス分析器 GASTAT-navi</p>	 <p>電解質測定器 STAX-5 Inspire</p>	<p>&lt;その他&gt; 赤血球沈降速度測定装置 尿中酸化ストレスマーカー測定システム 等</p>			
	 <p>各種採血管</p>	 <p>ラベル</p>	 <p>センサーカード</p>	 <p>電極</p>	 <p>ハレンカップ</p>	<p>&lt;その他&gt; 採血管準備装置および 検体検査装置の保守 等</p>	
	<p>消耗品等</p>						

**<注意事項>**

**当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。**